

ル・トラン・ブルーがかつて走ったコート・ダジュール（2010年）

Côte d'Azur en 2010 le quel le Train Bleu a fonctionné une fois

堀口 修一

2010年にオーボエという楽器のリードの材料である葦を探して南フランスを車で走り回って来ました。その際に、フランス国鉄のコート・ダジュール区間を訪問して来ましたので、報告させていただきます。

豪華寝台急行ル・トラン・ブルーはパリ・リヨン駅からカンヌ、ニース、モナコがあるコート・ダジュールを通り、イタリアのヴェンティミリア駅までかつて運行されていました。



1988年に日本へ来たオリエント急行の車両はこのトラン・ブルーに使われていた車両です。Lx型寝台車は1929年から導入され、当初は一人用個室のみ10室の10人用Lx10でしたが、途中で一部または全部を二人用個室に改造したLx16とLx20になり、1968年まで運行されていました。又、箱根ラリック美術館に展示してあるコート・ダジュール型プルマンカーも1929年から導入され、1951年には一部がトラン・ブルー用バーサロンカーに改造されて運行されていました。

トラン・ブルーの列車名は1971年にはワゴン・リ社からフランス国鉄に引き継がれ、2007年には寝台車を全て廃止して座席車のコライユ客車のみとなり、列車名トラン・ブルーは終了しました。一方、豪華寝台列車ル・トラン・ブルーに使われた車両は1976年に一人のスイス人実業家インターフルーク社が購入し、1977年から1993年までノスタルジー・イスタンブール・オリエント・エクスプレス（NIOE）という列車名で観光列車として運行されていました。

ニース・ヴィル駅（写真1）は1867年に開業した当時のまま残っており、豪華寝台急行ル・トラン・ブルーもこの駅に停車し、北ヨーロッパから避寒に来た紳士淑女を出迎えました。

ニースのトラムは最新式の車両が走っています。（写真2）駅から旧市街のレストランまで行く時に乗ります。



コート・ダジュールとは紺碧海岸という意味で、フランス国鉄が地中海の海岸線を走るサン・ラファエルからヴェンティミリアまでの区間を言います。サン・ラファエルとカンヌの間にある美しいレンガ積み9連アーチ橋のアンテオール鉄道橋（写真3）、それからニースとモナコの間にあるプラットホームから港を一望できるヴィルフランシュ・シュル・メール駅（写真4）は特に有名です。これ以外にもほとんどの区間が海岸線擦れ擦れを走っており、車窓には地中海が広がっています。晴れた日の昼間に二階の海側席に是非座って、この贅沢を味わってください。夕食はニースの旧市街やモナコのカジノ付近のレストランでパエリアなどの地中海料理がお薦めです。又、ニースのシャガール美術館やアンティープのピカソ美術館、3時間くらい足を伸ばせばアビニョンの世界遺産（ローマ教王庁宮殿、サン・ベネゼ橋、プチ・パレ美術館など）も見られます。「橋の上で踊れや踊れや、坊さんも通る」サン・ベネゼ橋は日本でもお馴染みの橋です。



現在のフランス国鉄のコート・ダジュール区間は下記の3つの部門に分かれています。

- (1) TGV や長距離旅客輸送を担当する VFE (新幹線 TGV、在来特急テオズ、寝台特急ルネア)
- (2) 中距離旅客輸送を担当する CI (都市間急行コライユ・アンテルシテ)
- (3) 地域圏旅客輸送を担当する TER (プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地域圏列車)

走っている車両については最近は一階建て車両が増えており、下記の写真を撮って来ました。

ニース・ヴィル駅に停車中の二階立て新幹線 TGV Duplex の先頭車 (写真5)

アンティーブ駅に停車中の二階立て新幹線 TGV Duplex の中間車 (写真6)

ニース・サン・オーグスティン駅に停車中の TER 二階立て電車の先頭車 (写真7)

モナコ・モンテカルロ駅に停車中の TER 二階立て電車の中間車 (写真8)

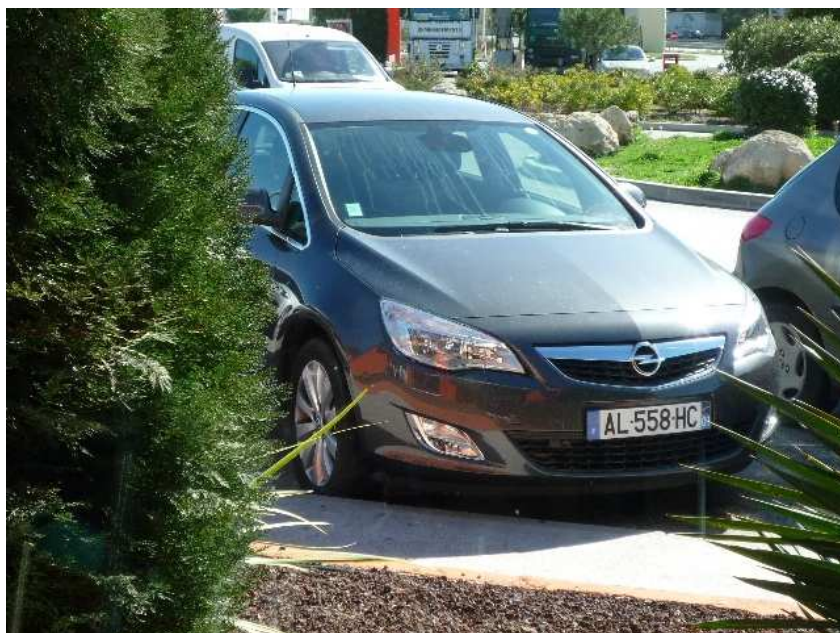
(モンテカルロ駅は港に迫る山のトンネルの中にあります。)





尚、ホームページ www.ter-sncf.com にアクセスし、フランスの地図上でマウスを動かし、PROVENCE ALPES COTE D'AZUL をクリックすると、コート・ダジュール区間の時刻表などが見られます。TGV、テオズ、ルネア、アンテルシテは全てニース・ヴィル駅以西を走っており、ニース・ヴィル駅以东は TER の地域圏列車がほとんどで1日1往復だけイタリア国鉄の急行列車が走っています。

又、乗り鉄だけでなく、撮り鉄をするには、ニース空港でレンタカーを借りることをお勧めします。但し、全てマニュアル・シフトのディーゼル車（写真9）です。フランス国鉄は海岸線を走っていますが、高速道路A8号線は山側を走っており、海岸線までは一般道を走る必要があります。しかし、高速道路は制限速度が130 km/hで、一般道も交差点のほとんどが信号の無いロータリーになっているので、直ぐに目的地へ到着します。海と鉄道を1枚の写真に撮るには是非、クラッチ操作、左ハンドル操作、右側通行、ロータリー走行（反時計回り）をマスターすべきです。料金所では20ユーロ以下の紙幣かコインのみ使用可なので、事前に崩しておく必要があります。



PostScript

以前にオークションで購入したフランスの HO ゲージ模型

①SNCF 231K型蒸気機関車 JOUEF 製



②CIWL コートダジュール急行 RIVAROSSO 製

